

## 第 9 回内部管理業務分科会 議事要旨

---

- 1 開催日時 平成 21 年 10 月 22 日（木） 13：30 ～ 14：30
- 2 場所 永田町合同庁舎 1 階 第 3 共用会議室
- 3 出席者  
[委員会] 吉野主査、大山専門委員、小尾専門委員、松尾専門委員  
[事務局] 佐久間事務局長、上野参事官、山谷企画官

（議題）

（独）国立病院機構による実施計画（案）について

---

◎主査より（独）国立病院機構による実施計画（案）についての審議は、委員による率直かつ自由な意見交換を確保するため非公開とし、後日、議事要旨を公開する旨の発言があり、各委員から了承を得た。

◎（独）国立病院機構による実施計画（案）について

○（独）国立病院機構による実施計画（案）について、質疑及び意見交換を行った。その主な内容は以下のとおり。

- ・ 前回の分科会での御示唆を踏まえ、実施計画（案）全体の見直しを行った。「対象品目」については、事務消耗品全体と医療安全面で支障がない衛生材料 2 品目程度を対象とした。「対象施設」については、事務消耗品の調達額の 5 割を超える病院 40 病院を対象とした。「実施期間」については、病院との調整が必要なため、平成 23 年 4 月開始とし、あわせて「契約期間」を 2 年間へと修正した。「実施スキーム」については、落札後も競争性が働くよう、複数の落札者を選定し、品目ごとに一番安い事業者から購入する仕組みができないかと考えている。
- ・ 契約期間が 2 年間に及ぶため、落札業者よりも低価格を提示した事業者がいた場合、提示された価格を落札業者に伝え、金額交渉を行い、仮に落札業者から低価格で調達することができない場合は、他の事業者からも調達することで、経費削減を実現したいと考えている。
- ・ 消耗品費全体は 74 億円程度であり、このうち事務消耗品は概算ではあるが、22 億円程度である。この 22 億円の半分の 11 億円程度を今回の市場化テスト

の対象としたい。

- ・ 2年間の結果を踏まえて、将来的にさらに拡大する予定はあるのか。
- ・ 2年間、市場化テストを実施した病院と、市場化テストを実施せずに今までどおり事務用品を購入した病院の経費削減の状況を比較し、効果が確認できた段階で全て実施することも考えられる。
- ・ 消耗品費全体の74億円のうち市場化テストの対象とならない50億円については、どのような考え方で市場化テストの対象としないこととしたのか。
- ・ 残りの50億円は、病院名を記載した封筒等の印刷物が一定程度を占めており、その他は、種々雑多なもので構成されている。細かい分析は行えていないが、事務消耗品という視点でどこまで範囲に含められるかを検討した。仮に50億円の消耗品の中に、市場化テストで採用する調達方法を活用できるものがあれば、次からはその手法を活用していくことも考えられる。また、50億の消耗品について何らかの 카테고리を設定し、カテゴリ毎に調達することが効率的であるならば、そのような新たな調達方法についても検討していけるだろう。
- ・ 市場化テストを実施するに際して、なんらか懸念していることはあるか。
- ・ 調達金額は削減できるだろうと思っているが、市場化テストに向けた本部と病院間での調整作業がどの程度必要になるかというのは未知数であり、懸念している。

⇒実施計画(案)は、主査の確認を経て、11月4日の監理委員会で主査から御報告をいただく。「実施スキーム」のうち、予定価格を設定しない付随品目は、現在、評価対象から除外することとなっているが、評価対象に加えた方が、全体の調達価格を引き下げる可能性があるため、その点については、(独)国立病院機構と事務局で調整を進めたい。

以上